

# 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越工業高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「誠実・勤勉・創意」という校訓を生かし、工業高校としての趣旨や特性を踏まえ、学校の寄せられる期待に十分応えることのできる学校像である。長らく同じ学校像が続いているので、学校内外の環境分析を行うとともに、学校の特長や強みを生かした学校像を設定し、新たなステージを目指していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待やニーズ、生徒の学力や進路の実態を踏まえた重点目標が設定されている。目指す学校像とともに長らく見直しが行われていないことから、社会や時代の変化、生徒の変容等に注目しながら、学校内外の環境把握や分析を行って、課題の解決に向けたより具体的かつ重点化された中期目標を設定することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。重点目標、評価項目（年度の達成目標）、方策を有機的に結び付けるとともに、前年度のシートに記載した次年度への課題と改善策を新たな方策や指標の設定に生かすなど、企画委員会を中心に組織的に取り組んでいただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	地域や企業など外部との連携に力を入れ、それを広報活動につなげることで学校情報のPRを行うといった効果的な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。方策の達成状況を測るための指標設定に一層の工夫を行い、何を、いつまでに、どの程度行うのかという視点から教職員間で達成イメージを共有できるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、地域や企業との連携等の取組を精力的に実施するなど、教職員の共通理解を深めながら教育活動に取り組んでおり、優れた取組となっている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を詳細に分析して新たな課題の析出やより効果的な方策を設定するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、PDCAマネジメントのスパイラルアップを図っていただきたい。	
特記事項			